

代表質問

かいづ 勉

問 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するためには、施設の消毒作業

パルヌ市を訪問し、同市と自治体連携協定を締結しているが、協定締結を行った理由は何か。また、エストニア共和国との交流に関して、今後の同国との交流方針について市の見解を問う

答 協定を締結した理由はパルヌ市の電子自治体としての先進的な取り組みや多くの観光客が訪れるビーチリゾート、大規模な音楽祭の開催等、文化・芸術・観光など、本市としても学ぶ点が多いと考えたためである。また、パルヌ市との協定がきっかけとなり、エストニア共和国との交流も実現していることから、今後は、同国が持っている画期的な情報・通信技術やクリーンエネルギー施策等、専門的知識や経験について、パルヌ市を通して共有していきたいと考えている。



荒木 詩郎

検討する場合は、洗濯のしやすい体操服やジャージが第一候補となるが、規律に配慮した上で柔軟に対応することが望ましいと考えている。また、制服の着用は様々な考え方があることから、校長会、PTA連絡協議会、学校運営協議会等で話題として取り上げる他、制服に関するアンケートの実施などについて検討していきたいと考えている。

問 真夏におけるマスク着用は熱中症を誘発するおそれがあるため、登下校時や

合における旧江戸川堤防の越水の危険性について、市は、どのように認識しているか。また、行徳地域の内水氾濫対策については排水機場の能力維持が重要だが市としてどのように進めていくつもりなのか。

答 県に確認したところ、旧江戸川堤防は、計画流量を超える水量を旧江戸川に流さざるを得ない状況が発生した場合でも、直ちに越水することではなく、堤防は鉄筋コンクリート構造であり、容易に壊れることはないとのことである。また、市が管理する排水機場は、劣化状況等の点検・調査を行い、施設の老朽化対策を計画的に進めていくなお、県の排水機場についても、老朽化対策を進めるよう、千葉県市長会を通じて要望していきたいと考えて

